

西宮 えびす



江戸初期の寛文三年に建立された三連春日造という本邦唯一の総ヒノキ造一〇三平方の本殿。国宝に指定されていたが先の大戦で焼失、昭和三十六年元の姿に復元、平成七年阪神大震災により半壊、解体修理をおこない建立当時の輝きがよみがえる。

平成8年 新春号

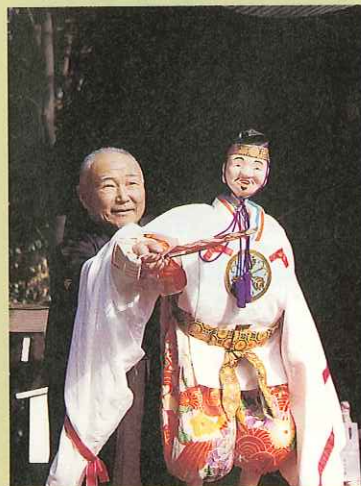
西宮神社 / 〒662 兵庫県西宮市社家町1-17
TEL/0798-33-0321 FAX/0798-33-5355

えびす

平成8年 新春号

四季の境内

(新春1月5日・百太夫神社祭奉納えびす舞)



◎編集室から

震災から一年近くが経過、街並もだいぶ落ち着きを取り戻してきたように感じます。そのような中で十月二十日震災復興の第一期工事にあたる本殿・拜殿の修復工事が完了、同二十六日には正遷座祭を斎行、えびす様が約7か月ぶりに仮本殿から戻って、こられました。震災で二百三十店舗のほとんどが全壊した門前の西宮中央商店街の商店主らでつくる阪神西宮駅南地区復興連絡協議会の足立良昭会長も「商店街と神社が一体となって復興の弾みをつけたい」と話しておられました。

新装なった社殿が被災地復興のシンボルとなるよう、崇敬者の温かいお気持ちを肝に命じ、一日も早い完全復旧をめざして今後も努力を重ねてまいりたいと思います。(英)

西宮えびす平成8年新春号(通巻第4号)
平成8年1月1日発行
発行/西宮神社
〒662 西宮市社家町1-17
編集/講務課広報
デザイン/OHTAファゼン
写真提供/神戸新聞社

◎ご奉賛のお願い

平成七年一月十七日に突発しました阪神大震災により、当西宮神社におきましても本殿をはじめ建造物・石造物等全ての境内施設に大被害を被りました。



▲新社務所完成予想図(大林組提案図面より抜粋)

◎特別免税認可される

平成七年九月十三日付けをもちまして、向こう三年間、当社への奉賛金に対する特別免税措置が文化庁より認可されました。

これによりまして、個人でお申し込みの方は、奉賛金額のうち一万円を超える額を課税所得から控除できます。法人名でお申し込みの方は、奉賛金額の全額を計算上の損金の限度額まで算入できます。

詳しくは、西宮神社復興奉賛本部までお問い合わせ下さい。
☎0798(三三)0311

つきましては、これらの歴史的建造物を平成の大造営として旧態に復しませと共に、来る新世紀に相応しい建造物とすべく、鋭意その建設に尽力いたす所存でございます。
何卒、崇敬者の皆様方のご奉賛を宜しくお願い申し上げます。

「十日えびす」にちなんだ招福の品々、
平成八年も協賛の団体・企業から発売予定



▲阪神米穀
「えべっさんのお米」



▲サッポロビール
「エビスビール」



▲西宮市内の日本酒醸造
十七社による共同銘柄
「えべっさんの酒」



▲阪神電気鉄道
「西宮えびすハブカード」



▲NTT西日本テレカ
「えびすテレカ」



▲JT日本たばこ産業
「十日えびすたばこ」

新しい年を 迎えて



宮司 吉井 良隆

新年明けましておめでとございます。

年頭にあたり、国家皇室の愈々の弥栄と、氏子崇敬者のご繁栄を心より祈念申し上げます。

昨年一月に勃発しました阪神大震災に際し、全国各地の崇敬者の皆様方より厚情溢れるお見舞いを頂き、厚く御礼を申し上げます。

当地の蒙りました甚大な被害は、震災以来一年を経過した今日におきましても、なお癒えがたい爪跡を随所に残しております。その中であって皆様方のご期待に添うべく、まずご社頭の復興を目標に職員一同懸命に頑張っております。

お陰をもちまして、本殿・拝殿のご造替工事が急ピッチに進み、十月に完了、同月二十六日に正遷座祭を滞りなく斎行し、旧態に復し得ましたことは、誠にご神徳のためものであり、同時にお寄せいただきました多くの方々の力強い励ましとご協力によりますことと、深く感動いたしております。

しかしながら、目下修復中の国指定の重要文化財の大練塀をはじめ社務所の再建、神苑の整備等まだまだ残された諸事業の復興に向かって邁進しなければなりません。新しい年を迎えるにあたり更に覚悟を新たにしている次第であります。一層のご支援をお願い申し上げます。

一方、当社の氏子区域である阪神西宮駅南地区一帯、主として中央商店街の被害は甚大且つ深刻でありまして、市民の多くは何らかの形で大切なものを失い、一時は自失にも陥りましたが、多くの人々の励ましにより昨今漸く日常生活を回復するまでになりました。この機に新しい街づくりの発想として、氏子と神社の在り方の本源に立ちかえり、新都市建設推進の中での神社と商店街の一体化を模索する必要に迫られています。幸い、商店街の復興の弾みとして神社との一体化を積極的に推し進めてきているので、ここで西宮のシンボルである「えべっさん」と地場産業としての酒造地帯の活性化を合わせ、観光資源の意味を含めた近代都市街づくりの課題に取り組み年になることと思われま

境内 再建

十日えびす大祭の一週間後に突発した阪神大震災からはや一年が経過、境内の様子もやつと落ち着きをとりもどし、甚大な被害を受けた諸建物も十一月の七五三詣までには、本殿・拝殿・末社・祓所・手水舎等、第一期計画分の修復工事を終え、新年初詣・十日えびすにおきましては、新装になりました社殿で参拝者の方々をお迎えすることができるようになりました。これも一重に全国の崇敬者・近隣の氏子の皆様からの温かいお励まし、ご援助の賜と職員一同感謝しております。



◎本殿・拝殿

前傾した本殿は、地震直後の一月二十六日から復旧工事に着手、ジャッキアップ工法により解体修理を行い、耐震補強・金具装飾品等を新調、十月二十六日には仮本殿からえびす様が戻れる正遷座祭を斎行、塗り直しを施した拝殿と共にライトアップ装置を整備し、昼夜を問わず建立当時の輝きがよみがえりました。

◎祓所

柱と屋根のみで構成された地震に弱い建物であった為に屋根が完全に落ちてしまいましたが、伊勢神宮御下賜の木材を用いて修復、新たに照明設備を設けました。



◎銅鐘のお目見得



これまで一般に見て頂くことができなかった「戎之鐘」が拝殿正面の参道脇へ中庭から移設されました。この銅鐘は慶長十五年(一六一〇)に豊臣家の武将片桐且元の寄進によるもので重要美術品に指定されています。



◎手水舎

祓所と同じく屋根が完全に落ちてしまいましたが、伊勢神宮御下賜の木材を用いて修復しました。



◎松尾神社

震災直後に御神体を沖恵美須神社にお遷しをしておまつりしていましたが、お社も無事修復を終えた為、八月五日に正遷座祭を斎行、もとの鎮座地へお戻りになりました。



震災が発生するや、ただちに本社本庁をはじめ、全国の神社・斯界関係の教育機関・報道機関をはじめ関係会社や団体から心のこもったお見舞いを頂き、神宮や出雲大社をはじめ遠近各地の宮司様・権宮司様、また東大寺の管長様も直々に現地のお見舞いにお越し下され、神道青年全国協議会の会員多数が被災神社救援活動の一環として当市にも来られ活躍、

熱田神宮からは救援車を派遣して断水中の社内に慈雨の恵みを与えて下さった。

このように書き出してみると、全国にわたる西宮講社・本えびす講社・崇敬者各位からの御赤誠もここに記してお礼申し上げるべきではございますが、連日の御芳志を漏れなく書き出すことは、紙面上お許しをいただき、ここではお見舞いを下さった崇敬講社の所在地のみを列記

全国から温かいお見舞いを頂戴しました

させていただきます。
北海道・岩手県・宮城県・山形県・福島県・茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・長野県・新潟県・石川県・福井県・静岡県・愛知県・岐阜県・三重県・滋賀県・京都府・奈良県・和歌山県・大阪府・兵庫県・岡山県・広島県・山口県・島根県・香川県・徳島県・愛媛県・高知県・福岡県・長

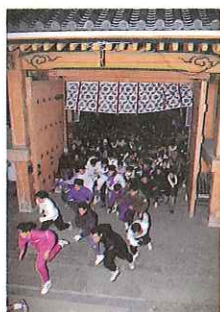
県・長崎県・佐賀県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県というように、ほぼ全国に網羅されています。唯々、都道府県名を列記するのみにては、お心のこもった御芳志に礼を失することはお伝えできません。有難うございました。

新装なった社殿で誓いを新たに
おやしろ

えびす宮総本社
西宮神社

十日えびす

◆開門神事福男選び



◆開門神事福男選び
本えびすの初参りの一番から三番までがその年の福男として認証され、ご神像をはじめ特別賞品が授与される他、先着五百名の参拝者にもれなく賞品の当たる福引きが行われます。

一月九日 **火**
◆宵えびす
午後二時 有馬温泉献湯式



一月十日 **水**
◆本えびす
午前六時 開門神事福男選び

◆残り福
一月十一日 **木**



年のはじめに商売繁盛・家内安全を祈願するお祭りとして知られている十日えびす。関西では親しみを込めて「えべっさん」と呼ばれています。タイを抱えたお姿からわかるように、海の守護神であったえびす様が、魚を取引する市場の神から広く商売の神になっていったようすです。

十日えびすの十日とは、今で言う五・十払いの集金日、その年最初の大福帳の整理をする商人とは縁の深い日なのです。

最後にもう一つ、えびす様のお誕生日は福德元年正月三日と語られています。

新装なった本殿で誓いも新たに手を合わせた後は、縁起物売る吉兆店や露店、今では珍しくなった見世物小屋をのぞいてみては。

活気にあふれる十日えびすで一年の幸福を呼び込まれてはいかがですか。



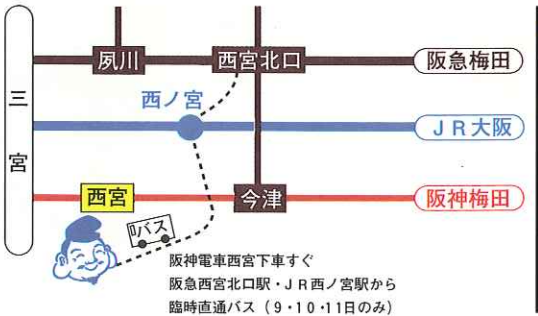
◆招福マグロ
神戸市東部中央卸売市場から奉納される大マグロに硬貨を張り付け、願を掛ける参拝者が絶えません。



◆境内のご案内

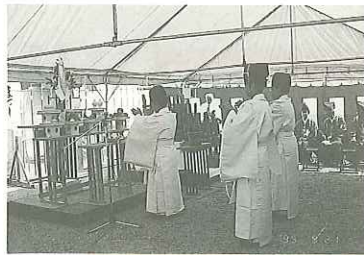


◆交通のご案内



初詣・十日えびす期間中は境内駐車場が使用できません。
ご参拝には電車・バスをご利用下さい。

阪神電車西宮下車すぐ
阪急西宮北口駅・JR西ノ宮駅から
臨時直通バス(9・10・11日のみ)



◎みやまみず 宮水祭り

◆九月二十一日

今回で第七回目となる「にのみや宮水まつり」が西宮市久保町の宮水発祥の地記念碑前にて斎行されました。地震によって地下水脈である宮水には大きな影響はなかったものの、酒蔵に大きな被害を受けた酒造会社も多く、参列者は真剣な表情で一日も早い復興を祈願しました。



けて参拝者への授け方や授け品の説明を受けた後、本職の巫女が境内を案内、新年奉仕の心の準備を整えました。

◎みこ 巫女研修

◆十二月二十三日

正月・十日えびすに笑顔で参拝の方々をお迎える臨時奉仕の巫女の研修が行われました。着慣れない白衣・袴を身につ

◎観月祭

◆九月九日

仲秋の名月、板本殿前に特別に設けた斎場において観月祭が厳かに斎行されました。祭典では、斎主の祝詞に続き古式に則り神職四名により月にちなんだ和歌四首の披露が行われました。



震災で疲れた心と体を癒してもらおうと西宮青年会議所主催によるイベント「ラ・フェスタ」が当社境内において開催されました。四日市からの会員も加わっての早朝からの準備の甲斐もあり、正午の開場と同時に家族連れらで会場は埋め尽くされました。



境内にはバザーの出店やステージが設けられ、「ミニコンサート」や「クレヨンしんちゃんショー」・「紙風船コンサート」等が行われ、一日中子供達の歓声に包まれました。

◎ラ・フェスタ ◆八月二十七日

◎国際人形劇フェスティバル

◆七月三十一日



国内・外十九の人形劇団が参加した「第二回国際人形劇フェスティバル」が今年も人形操りに縁深い当社よりスタートしました。今回は震災により開催が危ぶまれていましたが、「人形劇で被災者を励ましたい。」という主催者の希望により実現、境内末社の百太夫神社での開催奉告祭を皮切りに西宮・宝塚両市で三日間にわたり公演が行われました。



全国にゆきわたるえびす様

えびす様の全国調査

全国にえびす様がどれだけおまつりされているのでしょうか。この実数はなかなか掴めません。それは、えびす様が文字通り庶民の神様として津々浦々の小さな祠にまでおまつりされているので調べようがないのです。一つの目安として、これは戦前の事ではありますが、時の監督官庁であった内務省が所蔵していた全国神社明細帳からえびす様をおまつりしている神社を調べてみますと、その数実に三千八百十二社になります。

えびす様の絵像

えびす様の特徴の一つに、お姿を版画風にしたお札を全国にお配りしているということがあげられます。中世には春日神像・熊野神像・住吉神像など神様のお姿を描いた名作もありますが、それらが全て御神殿の奥深くにおまつりされてしまったのと入れ替わるように近世、特に江戸時代から明治にかけて盛んにえびす様の絵像がもてはやされるようになり親しみ深い神様として福よかなお顔が世間に広まりました。今でも「えびす顔」といえば一番幸せな時



の表情となっております。当西宮神社では、江戸時代の初期四代將軍家綱のときに幕府から特別に神影札の版権と地方頒布の認可をうけ、さらに明治二十四年に内務省登録番号第九百八十号をもって本社としての版権を得て、透かし入りの特別の神影札を頒布していますが、各地にはいろいろなお姿のえびす様の神影札があり、それらには地方色や時代背景が反映されています。



サッポロビール(株) 代表取締役社長 枝元 賢造

東京・恵比寿のサッポロビール工場跡地に昨年十月にオープンした恵比寿ガーデンプレイス。ピヤホールや映画館、デパート等色々な施設が集まるこの街の一角に「恵比寿神社」があります。明治二十三年、いわば東京「地ビール」として「恵比寿麦酒(エビスビール)」が当地に誕生。その直後工場敷地内にお社をつくり西宮神社からのご分霊をおまつりしたものです。恵比寿様の「加護」が発展し、今では全国各地の方に愛飲されています。工場内におまつりされていた時には社員以外はお参りすることができませんでしたが、今は散歩の途中でふと立ち寄る人が後を絶ちません。静かに心に願うのは、商売繁盛か縁結び(???)か、意外に若い人の姿を多くみかけます。これから先も、先日行われた一周年記念イベントのテーマ「街中みんな恵比寿顔」の通り、ここに住み・働き・遊ぶ人みんなが恵比寿様のお陰で楽しく幸せに過ごせる.....そんな街であり続けることでしょう。